

令和2年7月豪雨の被害に伴う熊本県人吉市の廃棄物 処理支援活動について

はじめに

「令和2年7月豪雨」により 熊本県内では土砂災害や浸水害など、広域にわたり甚大な被害が発生し、多くの尊い命や貴重な財産が失われました。 先ず被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

(株)みずほ環境公社では、環境省及び熊本県人吉市並びに九州地区一般廃棄物団体災害対策連絡協議会からの要請を受け、被災により発生したごみの撤去を行うため人吉市へ廃棄物処理支援を行って来ました。



災害廃棄物処理支援 現地活動状況

人吉市災害対策本部にて、災害ごみの収集状況などの打合せを行い、市内の収集地域（温泉町、下林町周辺仮置場）などの現地状況及び作業安全手順の確認を行いました。



作業安全確認(下林町二区公民館前集積場)



収集地域(温泉町、下林町周辺)の路地・周辺道路等に出された災害ごみを分別・順次撤去・搬送を行いました。



集積場:人吉中核工業用地



引き続き、収集地域(温泉町、下林町周辺)に出された災害ごみのほか、被害の大きかった区域 中神町大柿地区についても収集可能な範囲で順次撤去・搬送しました。





最後に、被災地域の衛生環境を保つには、先ず地域に繋がる動線の確保、道路沿いに積み上げられた水害廃棄物に対し、その適正かつ迅速な処理が重要となります。

今回の災害と共に、新型コロナウイルスの影響による支援者の人手不足が問題で片付けが長期化しており、地域住民の精神的な負担となることを考えさせられました。

ここに 今後も起こり得る大規模災害の備えとして、今回の支援取組から得られた経験、対応を常時・緊急時を問わず住民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上に役立てることを目的に今後も活動してまいります。